

「みやざきシェイクアウト」に参加しました！

11月5日(金)に、宮崎県民一斉防災行動訓練「みやざきシェイクアウト」に参加しました。この訓練は、県が地震や津波災害に対する県民の防災意識の向上を図るため、県内に在住、在勤、在学している方を対象に毎年行うものとなっています。

「シェイクアウト」とは「(地震の)揺れに備えろ！」という安全行動のかけ声をイメージして、アメリカで作られた造語です。【Shake ~ out of... (...から~を振り払う)】という英語をもとに作られたそうです。シェイクアウト訓練は「参加の意思」さえあれば、「どこでも」「だれでも」参加できる訓練です。県内の公共施設等でも同じような訓練が実施されました。今回は、門川中学校も参加登録を行い、県下一斉のシェイクアウト訓練に学校として参加をしたところです。

生徒には、週初めに「今週のどこかで地震を想定した安全確保の訓練が行われる。」ということが伝えられ、半ば抜き打ちの形で実施されました。授業中ということで、全学級各教科担任の先生方の指示に従って身を守るための行動を行い、揺れが収まった旨の放送を聞いた後、このシェイクアウト訓練についての説明を聞きました。突然大きな揺れに見舞われると、パニックになることも予想されますが、この訓練を思い出し、落ち着いて身の安全を確保することができるようになってくれればと願っています。



←2年2組 英語の様子



←1年3組 音楽の様子
←2年1組 国語の様子



門川町一斉下校時避難訓練が行われました。

11月17日(水)に、門川町一斉下校時避難訓練が行われました。この訓練は、町内の小中学校に通う児童生徒が、下校中に大震災が発生し町内に津波が押し寄せる、ということ想定して行われるものです。町教育委員会、町役場、町消防団、町内各地区等の協力の下、児童生徒の災害時における防災・減災実践力を高めることを目的に実施されました。

前号でお知らせしたとおり、今回の中学生の避難場所は以下の通りとなっていました。

門川中3階・門川小屋上・中央公民館・南ヶ丘公民館・門川神社・門川町役場新庁舎・五十鈴小体育館・城ヶ丘児童公園・平城保育所・草川小屋上・中村公民館・心の杜・加草共同墓地・庵川西近隣公園・須賀崎貯水タンク場(タンク山)

これまでの訓練では、大津波警報の防災無線を聞いた後、事前に決めていた避難場所に向かって避難する、という形で行って行っていました。今回は、1年生については従来通りの形で、2・3年生についてはさらに防災実践力や判断力を高める、ということを目的に、「現在いる位置から最も近い場所に避難する。」という形で実施しました。事前指導では、防災担当の遠田先生に準備していただいた防災マップを使用し、通学路にある避難場所を確認して訓練に臨みました。結果、全校で20名ほどの生徒が、それぞれの判断で当初の予定とは異なる場所に避難をしていました。職員は別の場所へ避難してきた生徒について連絡を取り合い、所在の確認を行いました。午後4時には本部にて全員の所在が確認され、避難完了となりました。



↑門川中での避難の様子



↑心の杜での避難の様子

最後に、門川町教育委員会が行った、この訓練に関するアンケートについて、門川中学校における結果をお知らせします。

① 大震災の後、門川町にやってくる津波の高さは最大で約12mと言われています。このような大きな津波は、あなたの家までやってくるかどうか知っていますか？

1年生：	知っている	83%	知らない：	17%
2年生：	知っている	84%	知らない：	16%
3年生：	知っている	89%	知らない：	11%

② あなたは、地震・津波の時に自宅からどの避難場所に行けばよいか知っていますか？

1年生：	知っている	81%	知らない：	19%
2年生：	知っている	85%	知らない：	15%
3年生：	知っている	100%	知らない：	0%

③ あなたは、自分の通学路上の避難場所を知っていますか？

1年生：	知っている	79%	知らない：	21%
2年生：	知っている	86%	知らない：	14%
3年生：	知っている	98%	知らない：	2%

④ あなたは、登下校中に大きな地震・津波がきたら、「自分が一人の時」でも近くの高台や避難場所などに避難できる自信がありますか？

1年生：	ある	63%	ない：	37%
2年生：	ある	58%	ない：	42%
3年生：	ある	91%	ない：	9%

このような結果となりましたが、学年が上がるごとに「知っている」「ある」の割合が上がっているのは、これまで積み重ねてきた防災学習の成果でしょうか。これからも、門川中学校では地域と協力しながら、SPSの活動を通して、高い安全意識や、防災実践力をもった生徒の育成に取り組んでいきます。

おわび：前号でお伝えした、門川町における津波の高さと到達時間の予想について

前号のSPS通信において、門川町内に来ることが想定されている津波の高さと、その到達時間について言及しました。ここで述べた1.2m・約1.6分というのは、最短で到達する海岸線沿いに、最大級の津波が押し寄せる場合であり、町内全ての場所にあてはまるものではありません。例えば、最大級の津波が押し寄せても城ヶ丘地区は浸水しない、西栄町地区は浸水開始時間が地震発生後30分以上、上町地区は25分以上、ということなどが予想されています。災害時は想定にとらわれずに、身を守る行動を取ることが大切ではありますが、誤解を招きかねない表現となってしまったことをお詫びいたします。なお、各地域の浸水開始時間やその予想される高さについては、門川町が発行している、1年生の防災学習でも使用した「門川町津波ハザードマップ」をご参照ください。また、国土地理院ホームページに公開されている「地理院地図」では、地図で指定した場所の標高を調べることができます。ご自宅や学校、勤務先の標高を見て、避難の参考にしてみてください。

国土地理院・地理院地図HP <https://maps.gsi.go.jp/>